

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年11月28日(2022.11.28)

【公開番号】特開2021-45490(P2021-45490A)

【公開日】令和3年3月25日(2021.3.25)

【年通号数】公開・登録公報2021-015

【出願番号】特願2019-171720(P2019-171720)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

【FI】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

10

【手続補正書】

【提出日】令和4年11月17日(2022.11.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

演出を実行可能な演出実行手段を備え、

前記演出実行手段は、

複数のキャラクタが表示される群予告を実行可能であり、

前記有利状態に制御される信頼度を予告する複数種類の予告演出を実行可能であり、

前記予告演出の実行前に、複数種類のうちいずれかの特別表示を表示する事前演出を実行可能であり、

前記特別表示が表示された後に、前記特別表示の種類に対応する種類の関連演出を実行可能であり、

30

前記有利状態に制御されることを報知する報知演出を実行可能であり、

いずれの種類の前記関連演出が実行されても共通の報知演出を実行可能であり、

前記報知演出において前記有利状態に制御されることが報知される前に、前記予告演出を実行可能であり、

前記関連演出の種類によって、実行される前記予告演出の種類を選択割合が異なり、

前記予告演出が実行される前に前記事前演出が実行されるときと、前記予告演出が実行される前に前記事前演出が実行されないときと、があり、

前記予告演出の実行前に前記事前演出が実行されるか否かによって、前記有利状態に制御される割合が異なり、

40

前記演出実行手段は、前記事前演出の終了後に前記関連演出を実行可能であり、該関連演出の終了後に前記予告演出を実行可能であり、

前記事前演出の実行期間は、前記特別表示の種類によって異なり、

前記関連演出の実行期間は、前記関連演出の種類によらず共通であり、

前記群予告は、前記報知演出中に実行可能であり、前記報知演出中に表示されている識別情報の視認性を妨げない態様で実行可能である、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

50

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記目的を達成するため、本願発明に係る遊技機は、
 遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
 演出を実行可能な演出実行手段を備え、
 前記演出実行手段は、
 複数のキャラクタが表示される群予告を実行可能であり、
 前記有利状態に制御される信頼度を予告する複数種類の予告演出を実行可能であり、
 前記予告演出の実行前に、複数種類のうちいずれかの特別表示を表示する事前演出を実行可能であり、
 前記特別表示が表示された後に、前記特別表示の種類に対応する種類の関連演出を実行可能であり、
 前記有利状態に制御されることを報知する報知演出を実行可能であり、
 いずれの種類の前記関連演出が実行されても共通の報知演出を実行可能であり、
 前記報知演出において前記有利状態に制御されることが報知される前に、前記予告演出を実行可能であり、
 前記関連演出の種類によって、実行される前記予告演出の種類を選択割合が異なり、
 前記予告演出が実行される前に前記事前演出が実行されるときと、前記予告演出が実行される前に前記事前演出が実行されないときと、があり、
 前記予告演出の実行前に前記事前演出が実行されるか否かによって、前記有利状態に制御される割合が異なり、
 前記演出実行手段は、前記事前演出の終了後に前記関連演出を実行可能であり、該関連演出の終了後に前記予告演出を実行可能であり、
 前記事前演出の実行期間は、前記特別表示の種類によって異なり、
 前記関連演出の実行期間は、前記関連演出の種類によらず共通であり、
 前記群予告は、前記報知演出中に実行可能であり、前記報知演出中に表示されている識別情報の視認性を妨げない態様で実行可能である、
 ことを特徴とする。

10

20

30

40

50

上記目的を達成するため、他の遊技機は、
 遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機（例えば、遊技を行うことが可能なパチンコ遊技機1）であって、
 演出を実行可能な演出実行手段（例えば、演出制御用CPU120）を備え、
 前記演出実行手段は、
 複数種類の予告演出（例えば、図10-4～図10-7に示した、キャラ予告演出、タイトル予告演出、ボタン予告演出、役物予告演出など）を実行可能であり、
 前記予告演出の実行前に、複数種類のうちいずれかの特別表示（例えば、リボルバー、手榴弾などの武器を獲得する表示）を表示する事前演出（例えば、タイマ演出）を実行可能であり、
 前記特別表示が表示された後に、前記特別表示の種類に対応する種類の関連演出（例えば、図10-4のリボルバー関連演出や、図10-5の手榴弾関連演出）を実行可能であり、
 前記有利状態（例えば、大当り遊技状態）に制御されることを報知する報知演出（例えば、スーパーリーチ大当りの演出）を実行可能であり、
 いずれの種類の前記関連演出が実行されても共通の報知演出を実行可能であり、
 前記関連演出の種類によって、実行される前記予告演出の種類を選択割合が異なり（例えば、リボルバー関連演出が行われた場合、キャラ予告演出が行われる割合が高く（例えば100%）、キャラ予告演出以外の予告演出が行われる割合が低い（例えば0%）。）
 、
 前記予告演出が実行される前に前記事前演出が実行されるときと、前記予告演出が実行

される前に前記事前演出が実行されないときと、があり（例えば、図 10-8（D）に示すように、大当りの場合に強役物予告演出を対象としてタイマ演出が行われる割合は 30%である。） 、

前記予告演出の実行前に前記事前演出が実行されるか否かによって、前記有利状態に制御される割合が異なる（例えば、図 10-8（D）に示すように、はずれの場合に強役物予告演出を対象としてタイマ演出が行われる割合が 5%であり、大当りの場合に強役物予告演出を対象としてタイマ演出が行われる割合が 30%であるため、強役物予告演出を対象にタイマ演出が行われた場合は、タイマ演出が行われない場合に比べて大当りになりやすい。）

ことを特徴とする。

10

20

30

40

50